



12月のほけんだより



わかば保育園
令和3年12月

年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月。生活リズムが崩れがちで、また感染症もはやる時期です。子どもたちにとっては、クリスマスに冬休みと、お楽しみがいっぱいの月ですが、体調管理には十分気を配っていきましょう。コロナウイルス・インフルエンザ感染も気を付けて下さい。



ノロウイルスに要注意

冬場に増えるノロウイルスは、通常10月から2月ごろまで感染のシーズンが続きます。ウイルスはカキやアサリなどの二枚貝に蓄積されますが、貝類からの感染より、感染者のおう吐物、排せつ物からうつる2次感染のケースが多いようです。

感染すると、激しい下痢やおう吐、腹痛があり、38度以上の発熱も伴います。今のところ、感染予防のワクチンや治療薬は開発されていないため、症状が出たら水分を補給しながら回復を待つしかありません。

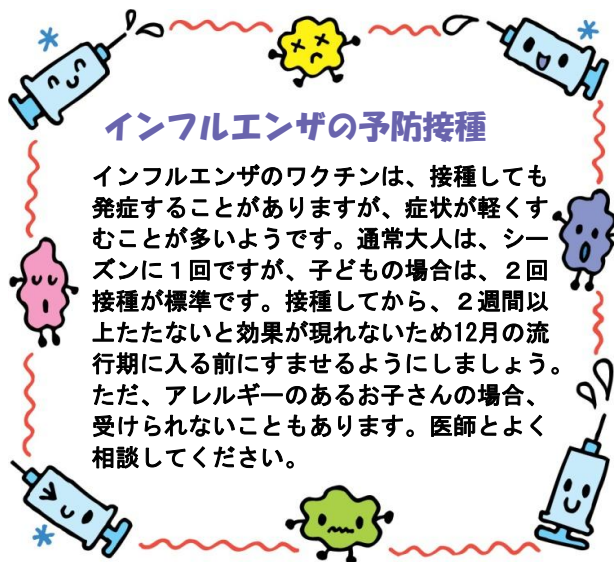
予防としては、感染例が報告されている間は二枚貝は加熱して食べる、また食事の際にはせっけんでよく手を洗う、などです。ノロウイルスを殺すことはできませんが、手から洗い流すことができます。

感染者は症状が回復しても、その後1週間～1か月間、排せつ物とともにウイルスが体外に出るといわれています。発症か1か月ほどは排せつ物に触れないように気をつけ、触れる危険性がある場所は、塩素系消毒剤をしみこませた布などでふくようにしましょう。

お知らせ！！
年長児のお子様はMRワクチンを
就学前までに済ませて下さい。

やけどをしたら...

冬はやけどの事故が増える時期。万が一、やけどをしてしまったら、とにかく流水で冷やすこと。その後、症状によって病院で診てもらいましょう。アロエやみそを塗るなど、民間療法でよいといわれていることを、安易に試すのはやめましょう。細菌感染の原因になることがあり、症状を悪化させ、長引かせてしまいます。



インフルエンザの予防接種

インフルエンザのワクチンは、接種しても発症することがありますが、症状が軽くすむことが多いようです。通常大人は、シーズンに1回ですが、子どもの場合は、2回接種が標準です。接種してから、2週間以上たたないと効果が現れないため12月の流行期に入る前にすませるようにしましょう。ただ、アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともあります。医師とよく相談してください。

- 子どものけんしん
- ①受付時間 13時～13時30分
- ②持ってくる物 母子手帳・送付した問診票
(事前に記入してください。)
- ③会場 川崎保健センター
- ④電話番号 0947-72-7083

- ☆乳児けんしん 12月7日(火)
- ☆3歳児けんしん 12月21日(火)
- ☆保健なんでも相談 12月2日(金)

～コロナウイルスの対応について～

感染予防の為のお願いと注意

●発熱等により体調に異常がある時は
保育所の利用はできません。

●お子様や保護者・同居家族等が「PCR検査が必要であると診断された！」 「福祉事務所から《濃厚接触者》として特定された場合」は、ただちに通っている保育所に連絡を入れて下さい。

●発熱(37.5)した場合は、**解熱後24時間経過し、呼吸器症状が改善傾向**していなければ登園できません。

皆様方のご理解、御協力をお願い致します。